

よくある学習Q&A

Q Z会中学受験コース対象校ではない国私立中学校を受験する場合は、どのコースを受講すればよいのでしょうか？

A 学習を続けるなかで志望校が変わった場合にも対応が可能ですので、中学受験コースの受講をおすすめします。
ただし、5・6年生で志望校にあわせた学習を優先される場合は、小学生コース本科を受講することもできます。

Q 難しい問題を解くのに時間がかかります。

A 基礎の定着を優先させましょう。「最難関」対象校志望者は、最難関マークのついた応用問題まで解けるようになるのが理想です。とはいえ、完璧にこなすのは大変です。まずは、最難関マークのついていない基本・標準問題で基礎の定着を優先させてください。後回しにした問題は、長期休暇など時間をとれるときに解きましょう。また、「10分考えてわからなければ答えを見る」のも、効率的な時間の使い方です。理想通りに進まないときは、絶対にやらなければならないことに絞り、学習を続けましょう。

Q 習いごと等で忙しく、すべての教材に取り組む時間を確保できるか不安です。

A すべての教材に取り組めない月も、優先順位をつけて教材を選びましょう。トータル指導プランでは、要点と月例テストには必ず取り組んでください。もう一つの方法としては、4年生以上の場合、優先順位の低い教科を「要点集中プラン」に変更する、ということも可能です。このプランには、要点学習と、その確認問題まで含まれていますので、最低限のインプット学習をすることができます。カリキュラムは「トータル指導プラン」と同じですので、生活時間の見直しなどをされたあと、また「トータル指導プラン」での学習に戻っていただくことをおすすめします。

Q 「最難関」対象校志望ですが、苦手な教科は「難関」で受講してもよいですか。

A はい。ただし、最終的には志望校に合ったレベルでのご受講をおすすめします。
苦手教科に関しては、まず「難関」で様子を見ていただくことも可能です。ただし、最終的には、同じ志望校の会員さまと同じレベルの月例テストを受けていただきたく、「最難関」への変更をおすすめします。
教材は、「最難関」「難関」ともカリキュラム・学習単元は共通で、基本的な学習事項に違いはありませんが、「最難関」の方には「最難関マーク」がついた練習問題も解いていただくこと、月例テストの問題がレベルによって一部異なることという違いがあります。

Q 中学受験に向けた親の準備や、情報の集め方が知りたいのですが。

A **Z会うち学習ナビ**では、志望校の検討から出願まで、中学受験準備に必要な情報を、学年や時期に応じてご紹介しています。
Z会受験情報ナビでは、中学受験・受検をするお子さまと保護者の方が知っておきたい、基本情報や学習法、合格体験記などの記事をご紹介します。

▼Z会うち学習ナビ
<https://www.zkai.co.jp/z-navi/support/a3456/>

▼Z会受験情報ナビ
<https://www.zkai.co.jp/exam-navi/>